



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

1633年、ヨーロッパ全土に拡がったペストは、人口の3分の1が亡くなるという未曾有の大災害をもたらした。この病がアルプス山麓南ドイツの小さな村にも迫ってきたとき、村人たちは神に祈ったという。「もしもこの病から村が救われたら、私たちは、10年に一度キリストの『受難劇』を行います」と。

い。この章は手紙全体の結論であり、その頂点を形作るに留まらず、そこから、全体が理解されるべき光を投げかけている「神学者バルトは、このように語っている。コリントの教会の混乱(分派争い、神殿に捧げられた肉の食用の問題、結婚、奴隷など)に対し、パウロが語ったそれぞれの勸

瞑想

詩かれるときは朽ちるものでも、朽ちないものに復活します。

Iコリント15:42

主幹牧師 榎本 恵

告の根本にあるのは、「すべての人々の福音の核心の思い違い」(ヘイス「現代聖書註解」)であり、その福音の核心である復活信仰こそ、コリントの教会のみならず、今を生きる私たちリスチャンにとっても、最も重要なものなのである。ところが、この復活がなかなか難しいのだ。なぜならそれがただの復活ではな

く、「体の復活」だからである。ヨハネ福音書の中に、死んで4日になる男を、主がよみがえらせる出来事が描かれている。イエスの愛したベタニアのマリアとマルタの兄弟であるラザロ。彼は病に倒れ、イエスの来られるのを待ちわびていた。しかし主がお着きになった

することは存じております。」(ヨハネ11:24)と。それはまさに模範的な回答であった。私たちもまたこの答えを知っている。私たちが、いつも唱える使徒信条「からだのよみがえりを信ずる」とは、まさにこの模範的答えではなかったか。

ところが実際、イエスが墓の前に立ち、その塞いである石を退けるように命じられるとマルタは驚き、「主よ、4日もたっていますから、もうにおいます。」(ヨハネ11:39)と答えるのだ。彼女の存じていた復活とは一体なんであったのか。私たちが繰り返し唱える「からだのよみがえり」とはいったい何なのか。福音の核心としての復活、それは観念論でもなく、ただ唱えるだけの教理でもない、実際の死人の復活(アナスタシア ネクローン)なのだ。手と足を布で巻かれ、顔は覆いで包まれたまま生き返ったラザロの復活なのだ。

どうか、「それについては、いずれまた聞かせても

アシユラムと私

三好 萬亀

主の1969年、第1回呉アシユラムから、早いもので50年を迎えます。呉アシユラムの始まりは、1967年2月、今は亡き伊東しずえ姉に、「スタンレー・ジョーンズ師の宮島アシユラムに行かないか？」と誘われて、二人で集会に出席したことがきっかけでした。

「皆さんは、これだけの時間があるから、先生の話がたっぷり聞けると思ってたけれど、アシユラムとは『朝の15分があるあなたを変える』とあるように、毎日の生活の中で傷つき、破れていく自分を主の前に告白して、それに対して聖書の中からみことばを聴くことが大切です。その頂いたみことばをファミリーで分かち合うこと・・・」。

一応、説明が終わった。榎本先生が私たちに、

「あっ！あのときの二人だね。」とお声をかけられ、覚えていて下さったことを喜びました。アシユラムは開始前、十日の祈りが大切だと聞きましたが、何



第50回 記念 呉アシユラム (2020年2月)

らうことにしよう」(使徒17:32)とここで読むのを諦めないでいただきたい。死体が4日も経てば、異臭を放つことなど、常識中の常識である。それをからだのよみがえりなどと言うキリスト教は、ただ嘲笑われるだけの非常識の信仰なのか。またばかげた狂信者の集まりなのか。いやそうではない、福音とは、その常識を遥かに超える超常識の世界なのだ。

「蒔かれるときは朽ちるものでも、朽ちないものに復活します。」(1コリント15:42)ここでパウロが語る「朽ちる」という言葉の原意は、「腐敗する」という意味だそう。まさに私たちの常識は、命あるものは全て、朽ちていき、死んで4日も経つたものは腐敗臭を放つ。何一つ朽ちないものなどない。どんなに科学が進歩し、医学が発達したとしても、死には、誰ひとりとして逆らうことはできない。しかし、その朽ちるはずのものが朽ちないものにかえられ、朽ちるものが朽ちないものを着る(1

コリント15:54)時が来る。それは決して観念論でもなく、荒唐無稽な作り話でもない。神の栄光として、死に打ち勝つ勝利として、私たちの目の前に示されているのだ。今、私たちの住む世界は、未知のウイルスのために恐怖の中にある。世界中、政治も、経済も、社会も、そして教会までもが、不安と恐れの中で萎縮している。しかし、「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためで」(ヨハネ11:4)あり、必ず「死は勝利にのみ込まれ」(1コリント15:55)る。

友よ、オーバアマガウの人々は、ペストの惨禍からわずか一年の後、「受難劇」を演じた。その場所は、ペストで犠牲となった彼らの家族が葬られた墓のすぐ隣であったという。「朽ちるものが朽ちないものに復活する」、私たちもまた、この時代にこの場所で大きな声で叫ぼうよ。

の前に立たれて、

- 敬称略
- 1月分子 藤川 孝子
- 2月 萬山 金本 榎本 橋本 中山 望月 山岡 片山 赤石 野上 榎智 香川 佐賀 正山 常任 谷本 中村 村田 石川 今泉 杉山 沖田 竹谷 みゆき
- 3月 藤川 孝子
- 4月 藤川 孝子
- 5月 藤川 孝子
- 6月 藤川 孝子
- 7月 藤川 孝子
- 8月 藤川 孝子
- 9月 藤川 孝子
- 10月 藤川 孝子
- 11月 藤川 孝子
- 12月 藤川 孝子

- キリスト教団 広島福島町教会
- 福岡聖書教室 関根 浩介
- 関根悠紀子
- 宇都宮 パブテス教会
- カフェユキ
- 聖書入門講座 大山 中谷 小泉 小東 安藤
- 7センター
- 聖書教室 加藤 俊夫
- 渡部 村瀬 大塚 森山 直子
- いちのば 敬福記念
- チペルタ礼拝 齊藤 吉川 佐々木 大坂 齊藤 丸山 鹿屋
- キリスト教団 前田 辻井 金原 和田 (婚約式感謝)
- 和田 万寿男 和田 賀子 恩邦子 渡辺 静園聖書教室 安仲 池谷 池谷 同志中学校 代表 山崎 節子 岩田

私。一人静まって、主に、求めるべきことは何でしょうかと、まず祈りました。

は、「タイプを習得してタイプで教会報のご奉仕をさせて頂きたい。」と書きました。

すると、教会は、ガリ版からタイプ印刷に切り替えたいという希望があることを主人を通して聞かされていた

最後は、全員立ち上がって、輪になり、讃美歌を歌って終わりました。

ことを思い出させて下さいました。そのことについてみことばを下さいとお願いました。

教会には、二人で、小宮山林也先生に報告。榎本先生が覚えていて下さった事、タイプの練習を決心したと・・・。何か導きをと求めましたが、「神様と三好さんの問題だから、神様に聞きなさい。」と、それだけ。ずっと後で聞いたことですが、小宮山先生は、うちの教会に二人、榎本

では、このみことばで祈ってもらいました

と書かれて、松山アシュラムに参加されたそうです。そのような先生方との交わりの中で、呉アシュラム第1回が始まりました。

充満の時は、ファミリー毎に座り、白の小さな紙が配られました。「今日、新しく決心したことを書いて、隣の人と祈り合いなさい。」との勧め。私

（日本アライアンス呉教会）

心したことを書いて、隣の人と祈り合いなさい。」との勧め。私

（日本アライアンス呉教会）

心したことを書いて、隣の人と祈り合いなさい。」との勧め。私

（日本アライアンス呉教会）

心したことを書いて、隣の人と祈り合いなさい。」との勧め。私

（日本アライアンス呉教会）

宜和 恵
榎本 康子
榎本 光太郎
榎本 琢郎
河村 温枝
松田 東洋
山崎 知恵子
山崎 名氏
黒見 妙子
榎大 派
キリスト教会
吉田 すみね
丸小 聡明
島田 洋子
第45回
年額アシュラム
78 口
¥1,293,572

ヨセフ基金
(義援金)
センター基金箱
西野 栄子
吉田 すみね
ちいるば
アツちゃん・
シユラム君
4 口
¥10,500

会堂改築の
ために
銀田 達明

誕生日感謝
橋本 りつ子
榎本 空
榎本 百々子
3 口
¥15,000

新修道場の
ために
梶原 道子

クリスマス献金
宗教法人
聖書友の会
日本基督教団
枚方くずは教会
西野 栄子
渡部 元
日本基督教団
世光教会
辻 隆
辻 優子
鹿屋
キリスト教会
7 口
¥47,500

るっちゃん
るんるん食堂
渡辺 邦子
メヌエット
おぼさん
2 口
¥13,000

合計
96 口
¥1,483,572

尊いご献金、
ご献品、お祈り、
お便り、電話
メッセージ、
そして、共に
アシュラム！
感謝いたします

証し ③

石田 哲夫

3. ジョン・バニアン『天路歷程』に学ぶ

17世紀のイギリスの民衆作家ジョン・バニアンの『天路歷程』は、抑うつ病の人柄と症状を見事に描き出した物語です。主人公のクリスチャンという男が、「滅びの町」から脱出して「天国の門」に辿り着くまでの悪戦苦闘する旅路の物語ですが、典型的な抑うつ症状を背負い込んだ主人公クリスチャンの冒険の筋書よりも、わたしが関心を引いたのはこの物語に出てくる登場人物の風変わりな名前でした「イイカゲン氏、カタクナ氏、ヨワタリ氏、タワケ、ナマケ、オモイアガリ氏、カタチバカリ氏、ミセカケバカ氏、」などと続き、あげくは「見かけ倒しの市」があり、巨人「絶望」に続くのです。これらの人々は主人公クリスチャンとは対極にある人々であり、彼等がクリスチャンの旅路を妨げるもの、誘惑するもの、襲いかかるものとして出遭うごとに、クリスチャンの人柄がいよいよ鮮明に映し出されていくのです。

そして彼の姿と執着性気質の性格者との類似性に気付かされたのでした。

次に、この良き隣人クリスチャンが抑うつ感情に支配されている要因を考えました。彼が「滅びの町」にいる時、彼だけが何故か大きな荷物を背負っていました。起きている時も寝ている時も、また、食事をしている時も外を歩いている時も、彼の背負う巨大荷物の重さは彼を押さし潰さんばかりに加わり、人類の滅亡に怯える妄想にまで発展し、じっとしてられない焦燥感にさいなまれて「滅びの町」を脱出する光景が描かれていました。

ところが、物語は旅路半ばのある時点で、主人公クリスチャンの背負う荷物が肩から滑り落ちるのです。物語では背負う重荷は人の罪を意味しますが、私には病めるときの出来事として別の意味で重荷を迫体験できるものとなりました。

(無教会 金沢畝田聖書集会) (続)



2017年 北陸金沢アシュラムにて。
石田兄の賜物を生かして、
「楽しいSST」の時間

(続く)

アシュラムの皆様に・・・感謝

修道場に住んでいる森山俊輝といま
す。この度三年間お世話になったアシュ
ラムセンター修道場を出て、静岡で仕事
をする事になりました。まだ完全に道
が定まったわけではありませんが、大学
を辞めて一度ストップしていた自分の人
生をまた少し進めてみようと思えるよう
になりました。

この三年間は自分と向き合った三年間
でした。今まで知らなかった自分の一面
を知ることができましたが、一方で大学
を辞めたり、引きこもってしまったり、
急に家を飛び出してしまったりと決して
ポジティブなことばかりではありません
でした。むしろ思い悩んでいる時間の方
が多かったと思います。

しかし一方でこの三年間は神様と向き
合った三年間でもありました。今までの
人生でこんなに神様と向き合ったときは
なかったでしょう。聖書を読み生活して
いく中で僕が最も強く感じたのは、すべ
ては神様の手の内にあるということだ
です。不安や思い悩みを抱えながらも一
度歩みだそうと思えたのは、神様に委
ねれば大丈夫なんだと思えるようになっ
たからです。

アシュラムセンターでの経験は他では
味わえないものでした。アシュラムセン
ターを支えてくださっているすべての
方々に感謝いたします。ありがとうございます。



(森山俊輝)

頌主

この度、俊輝が修道場を出
る事になりました。丸三年
間大変お世話になりました。

アメリカに出発される直前
のお忙しい中、急なことでし
たが俊輝を受け入れていただ
き、ご心配をおかけすること
ばかりでしたが、大きな心で
受け止めてお交わり下さった
ことは、言い尽くすことの
できない感謝です。

早天を始め、いろいろなア
シュラムの集いに参加し、御
言葉に触れることのできたこ
の三年間はとても貴重であっ
たと思います。これからどの
ように導かれるか分かりませ
んが、いつでも神様の最善が
なされていることを信じ、祈
り応援していきたいと思っ
ています。

センターのみなさまおひと
りおひとりの健康とまた働き
が祝されますように。俊輝に
下さったご愛に対して、神様
が天からのものを持って豊か
に報いて下さることを願ひお
祈り致します。
心からの感謝と共に
在 主

(森山直子)

*** 俊輝兄との出会いを主に感謝! 再会の日を楽しみに・・・ ***



2月の広野祈りの家。
恵師と共に、多くのアシュラムに参加。
皆様に祈られています。これからも!



出発前の夕礼拝。
皆でみことばからの恵、俊輝兄
への一言を分かち合いました。



2017年4月、島根から、
越してきたばかりの俊輝兄。
左が母親直子さん。

あとがき

新型コロナウイルスの恐
怖に、今世界は恐れおのの
き、萎縮してしまっている。
連日の報道の中、政治も、
経済も、教育も、そして教
会までも沈み込んでしまっ
ている。アシュラムの集会
もいくつか、中止や延期
になっている。それはもう
仕方のない事だろう。もち
ろん私は、祈ればウイルス
に感染しないなどと言うつ
もりは毛頭ない。けれども、
こんな時であるからこそ、
神の前に祈りたいと切に願
う人もいるのだ。アシュラ
ムセンターはそういう方の
ためにある。センター主催
のアシュラムについては、
会場の使用がゆるさされてい
る限りは、中止しないつも
りである。マスク、手洗
いは当たり前のこと。少し
も体調が悪ければ無理しな
いことは常識だ。けれども、
こんな時だからこそ、共に、
祈ろうよ。共に、み言葉に
聴いていこうよ。
(恵)

主幹牧師の2019年度の振り返りと2020年ビジョン(1)

草は枯れ、花はしぼむが、
わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。
イザヤ40：8

榎本保郎先生は言われました。「イエスさまでさえも、朝早く起きて神さまに祈られた。もっと言うならば、その祈りなしにイエスさまの活動というものはあり得なかった」。

祈りは力です。熱心に祈ることなくして、私達は上からの力・知恵・才能などに満たされることはありません。

聖書を読みながら祈り求めるのです。聖書に対する正しい理解を！

職場や家庭においてまじめに働きながら祈り求めるのです。より良く人々に仕えることが出来るように！

病院や施設で奉仕をしながら、祈り求めるのです。もっと思いやりがあるようになり、忍耐強くなる事が出来るように！

私達は毎日祈りましょう。祈り続けましょう。私達のからだは聖霊の宮となって、イエスさまの愛と正義と謙遜を常に、私達の全存在をもって表現することが出来ますように、祈り求めましょう。

(高俊明牧師「アシュラムと私」より)

2019年度の振り返り

1) 台湾愛修会と国際正義平和アシュラムについて

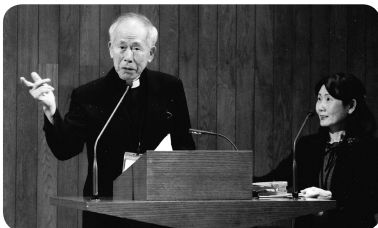
昨年2月、長年台湾愛修会を牽引してくだ

さっていた高俊明牧師が、天に帰られた。先生は、1970年から89年にかけて台湾基督長老教会の総幹事として働かれ、「台湾基督長老教会人権宣言」を発表し、台湾民主化運動の先頭に立ち、1980年に逮捕投獄され、4年もの間獄中生活を送り、釈放後は、民進党政権下の外交顧問としても働かれた。まさに「台湾の良心」であり、真の霊的指導者であった。

その高牧師が、自身の信仰の拠り所として、また台湾のキリスト者にとっての重要な霊性として、私たちのアシュラム運動を大切にしてくださいだったのは、上記の文章からも明らかなことである。一昨年の台湾アシュラムには、お体の悪い中、わざわざ私たちをお訪ねくださり、交わりの時を持たせていただいたのが、生前最後の高牧師とのお出会いであった。その時も、アシュラム運動の大切さを説かれ、台湾と日本のクリスチャンが、共に平和のために祈り、働くことを期待するという先生の言葉を忘れることはできない。

昨年、札幌の地で開催された「第16回国際正義平和アシュラム」も、台湾愛修会と私達アシュラムセンターとの共催で開催されている大事なアシュラム集会である。過去、「沖縄」、「大阪」、「福岡」、「東京」、「盛岡」、「神戸」、そして今回の「札幌」と台湾と各年ごとに開催してきた「国際正義平和アシュラム」も、そこには、高牧師の語る「私達のからだは聖霊の宮となって、イエスさまの愛と正義と謙遜を常に、私達の全存在をもって表現することが出来ますように、祈り求めましょう。」という願いの実践の場であると信じている。
(続く)

第16回 国際正義・平和アシュラムin札幌 2日目「大地に響け平和の調べ」 ~写真提供 石井一弘兄~



郭榮敏師による平和メッセージ、
右は通訳の入江玲子姉(高俊明師の姪)



台湾タロコ族聖歌隊の皆様による
讚美と舞踏



アイヌの方々とキャロル・サク師の奏でる
トンコリ&ハープ♪平和への祈りが響きわたる...

各集会、急な変更、中止もあり。
お問い合わせ下さい。

4月の聖書教室など		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
3(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会PM1:00)	
13(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)	092-607-8251 樋口栄子姉
15(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)	075-643-2476 みんなのカフェちいろば
17(金)	センター聖書教室(AM11:00)	
19(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝・愛餐会(PM5:00)	
21(火)	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)	
27(月)	静岡聖書教室(旧・英和女学院宣教師館 AM10:00~、PM2:00~)	
28(火)	東京聖書教室(御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)	
28(火)	桜美林リトリートアシュラム(桜美林大学荊冠堂チャペル PM2:30)	
5/1(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会 PM1:00)	

4月のアシュラムなど		
29(水)	第23回 阪神一日アシュラム (主恩教会 AM10:00) 奉仕者 櫻本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

5月のアシュラム予定		
4(月) 6(水)	第28回 盛岡・秋田アシュラム (癒しの宿盛岡口デム) 奉仕者 櫻本恵師	019-636-0285 角谷晋次師
15(金) 16(土)	第7回 北陸・金沢アシュラム (石川県青少年総合研修センター) 奉仕者 櫻本恵師	076-241-4409 石田哲夫兄
23(土)	第20回 愛知1日アシュラム (日本バプテスト連盟名古屋キリスト教会) 奉仕者 大門義和師	0562-47-0528 溝口勝幸師
26(火) 28(木)	第45回 教職アシュラム (イエスス会霊性センター) 奉仕者 加々美要師	048-789-1325 加々美要師

6月以降のアシュラム予定	
6月13日	四国一日アシュラム(13日に変更)
6月18日~20日	加太アシュラム
7月23日	福岡一日アシュラム
8月27日~29日	関東青年アシュラム
9月18日~19日	新潟アシュラム
9月21日~22日	関西アシュラム

第27回 三重アシュラム開催中止について

イエスは主です。
三好鐵雄師のご厚意により、毎月第二金曜日ミニアシュラムを中心に祈りつつ準備を進めて参りました。
皆様と共に、主の前に静まり、み言葉に聞き、賛美し、新しいファミリーと共に祈る喜びを思い浮かべつつ、3月初め案内状を発送する手筈が整っていました。
しかしながら、新型コロナウイルスの拡散によって、非常に残念ですが取りやめる事と致しました。
時が来て、開催の折には、ご参加くださいます様、心よりお願い致します。と共にどうか、三重アシュラムを覚えてお祈りください。
皆様のご健康が守られ、主の平安が、豊かにあります様お祈りいたします。

三重アシュラム実行委員会 高志 洋美
岡部知幸子



みことば

日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

「祈りについて」20年ぐらい前から数年間、保田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデミー神学院」で学んだことを、記してみたいと思います。

(保田みゆき牧師は引退されました)

1、祈りは呼吸であり約束です

祈りは肉体で言えば呼吸です。祈りが止まるのは、霊的な呼吸が止まることであり、死と同じです。イエス・キリストが死んで、霊魂が去るとともに、祈りも止まりました。しかし、イエス・キリストは復活されたので、また祈りも始まりました。今も、神の右にいて日夜私たちのためにとりなしてくださいませ。祈りは生きたクリスチャンの呼吸です。祈ることによって真理(イエス様)をさらに愛するようになり、祈りによって力ある信仰生活ができるようになります。

神は、肉体の人とは話をされません。神は霊ですから、神との会話は霊だけがすることができます。私たちの心の祈りも、霊の力を借りなければ、神に届けることができません。肉体が、神に会おうとしてもできません、霊魂が神に会おうとしたら会えますが、罪人のままでは神にお会いすることができません。

しかし、神はいつでも、誰とでも会って下さろうと準備をしておられます。ですから、私たちは神とお会いする準備をしましょう。「見よ、主の手が短くて、救い得ないのではない。その耳が鈍くて聞き得ないでもない。ただ、あなたがたの不義があなたがたと、あなたがたの神との間を隔てたのだ。またあなたがたの罪が主の顔をおおったために、お聞きにならないのだ」(イザヤ59:12)と言われた御言を、よく考えて見ましょう。

人間が神と会うということは神秘的なことです。自分の声を神の耳に聞こえるようにし、神の祈りの答えを受けるといことは凄いいことではないでしょうか。肉体の人が、全能なる神と交わることができるということは奇跡ではないでしょうか。(次号につづく)



第45回 年頭アシュラムの後、新しい出発前に。
右から、池谷兄、遠藤牧師、光太兄、和子母、節子姉(遠藤師夫人)